

報道機関各位

トルコギキョウの高品質切り花生産技術の検討会を開催します

(いばらき農業アカデミー 令和5年度品目別先進農業技術講座)



トルコギキョウは冠婚葬祭用途で年間を通して需要があり、茨城県内では若手生産者を中心に栽培されています。一方、秋～冬の出荷は、夏季の高温により生育量が確保できず、商品性が低下するほか、冬季の低温及び日照不足で栽培期間が長期化し、生産コストが増加することが解決すべき課題となっています。

そこで、茨城県農業総合センター園芸研究所では、(国研)農研機構※が開発した「日没後に遠赤色光を照射し、秋～冬期出荷で生育量を確保しながら、開花を安定させる栽培技術」について、本県における有効性を検討しており、この度、本技術を紹介する現地検討会を開催することといたしました。

つきましては、是非、取材して頂きたい、ご案内いたします。

※国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の通称

【日時】 令和5年12月1日(金) 14:00～16:00 (受付開始 13:45)

【場所】 茨城県農業総合センター園芸研究所 大会議室及びほ場
受付場所：園芸研究所 1階ロビー (正面玄関から入って正面)
〒319-0292 笠間市安居3165-1

【参集範囲】 県内花き生産者、農協、種苗メーカー、茨城県農林振興公社、県関係機関等
30名程度

【内容】 1. 日没後の短時間遠赤色光照射 (EOD-FR※処理) による高品質切り花生産技術

※EOD-FRは、日没後(End Of Day)の短時間遠赤色光(FR)の略

- ・室内検討 (14:10～14:40)
- ・ほ場検討 (14:40～15:10)
- ・総合討議 (15:10～15:30)

2. 種苗メーカーによる情報提供 (15:30～16:00)

※当日は、ほ場での検討も行うことから、汚れてもよい履物と雨具持参でお越しください。

※雨天決行ですが、荒天の場合はほ場検討を中止することもあるので、予めご了承ください。



写真1 日没後に遠赤色光を照射している様子



写真2 トルコギキョウ生産検討会開催の様子(昨年度)

【お問い合わせ先】 茨城県農業総合センター園芸研究所

研究調整監 寺門 巖
花き研究室長 市毛 秀則

TEL 0299(45)8340、FAX 0299(48)2545、E-mail: i.terakado@pref.ibaraki.lg.jp